

2025年度 第二回 日産愛知自動車大学校 教育課程編成委員会 会議報告書

1. 開催日時 2026年3月5日（木） 13：30－15：50

2. 開催場所 日産愛知自動車大学校 多目的ルーム

3. 出席者	(学校外委員)	企業代表	新名 尚隆 様	日産自動車株式会社 グローバルサービスエンジニアリング部
		団体代表	村井 寿伸 様	愛知県自動車車体整備協同組合 専務理事
		団体代表	西 和幸 様	愛知県自動車整備振興会 教育部 次長
		企業代表	小出 学 様	日産東海テクノ株式会社 工場長
		企業代表	山口 純丙 様	日産プリンス名古屋販売株式会社 課長
		企業代表	寺沢 広高 様	日産サービスセンタ株式会社 中部支社 課長
		(欠席：愛知日産自動車株式会社 課長 内山 晃 様)		
	(学校内委員)	学校長	松川 健一	校長
		部長代理	鈴木 貴久	教育部
		部長代理	武内 健二	学務部
		課長代理	中務 健之	教育部 一級科
		課長代理	坂口 正憲	全科1, 2年生
		課長代理	上谷 晃一	カーボディマスター科

4. 議題
- ・ご挨拶
 - ・前回のご意見の受け止め
 1. 日産資格試験結果報告（共通）
 2. 国家試験学習進捗状況（共通）
 3. 国際オートメカニック科の新規設立（共通）
 4. 新資格制度の進捗状況
 5. 27/4就職希望状況と26/4入学者数
 6. 学生の身だしなみについて
 7. Ene-1の参戦状況
 8. マスターメカニック科の募集停止について
 9. 日産社内資格 TS3級必須講座対応について
 10. カーボディマスター科の取り組みについて
 11. 東京オートサロン出展車両について
 12. その他車体関係の話題（Z復活プロジェクト）

5. 議論

1) 意見交換と質疑応答 いただいた貴重な意見・指摘については、今後の授業に反映していく。

番号	項目	所属	質問者	主な意見
	前回のご意見の受け止め	説明内容		①前回の委員会にて、「愛知県車体整備協同組合 村井様」、「日産東海テクノ 小出様」より『現場での記録簿の重要性』、『ICT活用』についてご意見をいただいた。 【弊社回答】 ・実習での記録簿記載を本格化させるとともに、Chromebookを用いたデジタル管理もカリキュラムに組み込んだ。（詳細は本委員会「10. カーボディマスター科の取り組み」に記載） ②「日産プリンス名古屋販売株式会社 山口様」、「日産サービスセンター株式会社 寺沢様」より『接客力と日本語能力が課題』とのご指摘をいただいた。 【弊社回答】 ・新設の国際科では、週1回の日本語専門授業を導入し、JLPT N2/N3取得だけでなく、現場でのコミュニケーション向上に主眼を置いた構成とした。 ・また、レポートもあえて『手書き』にすることで、漢字や筆記能力の定着も図る。
1	日産資格試験結果報告	説明内容		2025年度の日産資格結果を報告。 ・すべての種別（テクニカルスタッフ2級3級、テクニカルアドバイザー3級、車体士3級、塗装士3級）において全員合格。
2	国家試験学習進捗状況	説明内容		国家資格試験に向けた統一模擬試験結果から、進捗状況、及び取り組みを報告。 <二級整備士> ・全体として昨年度に比べ、留学生の割合が増えた影響からか、低位層が多い状況で推移。 ・成績低位者は学生休日である土曜日でも登校し、担当教員を増やして少人数対応で学習強化を図る。 <一級整備士> ・10月以降、模擬試験では昨年度より高い平均点で推移し、得点分布においても低位がない状況。 ・1名の学生に得点のばらつきがあるため、難易度の低い問題の取りこぼしを防ぐ指導を個別に確認。

3	国際オートメカニク科の新規設立（共通）	説明内容		国際オートメカニク科（３年課程）の設立について、準備状況を報告 ・実習教育計画については、２年間分の実習がほぼ作成済み。引き続き、３年次の教育計画を作成する。 ・学科については、新資格制度（新カリキュラム）に沿い、ルビ付き教科書や母国語への翻訳（専門用語等の翻訳）も活用しながら、運営する。 ・日本語教育については、外部講師による授業を導入し、JLPT資格取得と共に日本語でのコミュニケーションの向上を目指す。（JLPT：日本語能力試験）
		プリンス名古屋	山口 様	・アルバイト先の内容により、日本語会話能力に差が出ると思うため、なるべくコミュニケーションがとれる職種を選ぶことはできないか。 →会話の機会が多い飲食業を推奨とはしているが、強制は難しい。 →配送物仕分け業務は会話の機会がないが、時給が良いため人気職種となっている。
		整備振興会	西 様	・３年次の１０月に国家整備士試験受験とのことだが、不合格になった学生の教育カリキュラムはどのようなものか。 →不合格学生は放課後に資格試験勉強会を実施。 授業は合格者、不合格者ともに、就職後の実務（定期点検など）に沿った実習が主となる。
		日産サービスセンター	寺沢様	・運転免許の取得が困難とのことで、運転免許の取得支援などはあるか。 →学校提携の教習所にて、料金や受入れに關しての考慮をお願いしている。 →免許取得制度の変更（現在移行期間）により、教習所ではＡＴ免許が主となる。 →就職先ではＭＴ免許を不要としている会社もある。
4	新資格制度について	説明内容		・新整備士制度の新テキストによるカリキュラム実施の進捗報告 ・１年生分が計画通り終了し、４月より２年生分がスタートする。 ・教科書内容が薄くなったため、教員の補足説明を入れ授業を行った。 ・二輪内容は他校との連携により、教材準備を行う。 ・国家一級は２０２６年４月発刊された新テキストにより、授業カリキュラムを作成する。
		整備振興会	西 様	・試験日が３月の第２日曜日となり、見込み試験が可能となったが、卒業式の予定はいつごろか。 →試験日の前に卒業式の予定として、３月の初旬に予定している。
5	27/4就職希望状況と26/4入学者数	説明内容		<2026年4月就職対象者の就職希望先状況> ・日産販売会社：81.4% ・日産関連企業：5.5% ・他メーカー等：13.1% <2025年4月入学者> ・課程別入学者数状況を報告
		日産サービスセンター	寺沢様	・日本人募集のアプローチはどのようにしているのか。 →高校１４校の文化祭に参加し、学校をアピール。 →高校が参加しているイベント競技（この後紹介のエネワン）へ参加している。 →留学生へはアプローチしなくても入学してくる現状。 →日本人へのアプローチコストはかなりかけているが、１８歳人口の減少推移によりかなり厳しい現状となっている。
6	学生の身だしなみについて	説明内容		・「学生の多様化」、「学校の魅力向上」、「指導ストレス軽減」のため、身だしなみルールを１０月より変更した。 ・原則自由するが、就職活動や実習安全上のルールは別途設ける。 ・現在、目立つ学生は数名。留学生は文化的にひげを伸ばしている。
		プリンス名古屋	山口 様	・弊社でもひげに関しては緩和する方向で検討中。 ・タトゥーに関しては採用しないが、原則自由の範囲なのか。 →入れ墨に関しては、従来より常に隠せることが入校条件としている。
		弊社補足説明		・身だしなみルールから、競合他校への入学を選択される例がある。 ・高校の多様化もあり、身だしなみがすでに自由化されている学校も少なくない現状がある。
7	Ene- 1 チャレンジ参戦報告	説明内容		<Ene- 1 チャレンジ> ※Ene- 1 チャレンジ：乾電池を使用したエコカーレース ・一級科卒業研究授業の題材として鈴鹿Ene- 1 チャレンジに12月に参加した。 ・電気自動車に関する知識の醸成、スケジュール管理や課題把握など社会性の向上を目指す目的で参加。 ・その内の60チーム（34校）が高等学校であり、高校生や高校教職員との繋がりを持つ機会となった。 【参戦報告】 ・フレーム材質がアルミとカーボンの二種類の車両でエントリー。 ・アルミ車両は1ラウンド目で完走できず成績なし。 ・カーボン車両は3ラウンド途中で電欠したが総合60位となった。（クラス別では26チーム中14位）

8	マスターメカニク科 募集停止	説明内容		・サーキット授業や整備技術の習熟を行う課程であるマスターメカニク科の募集を4月以降停止する。 【理由】 ・対応できる人数が少ないこと、一級課程と競合すること、日本人学生の減少により、永続性が困難と判断した。 【募集停止後の対応】 ・カリキュラムは大変好評であった、その授業内容は一級課程に組み込むことを検討。一級課程の学生数を確保していく。
9	日産社内資格 T S 3 級 必須講座対応について	説明内容		・日産社内資格のTS2級を校内取得するにあたり条件変更が行われたため、それに対応する。 具体的には「T S 3 級必須講座」の内容が変更されたため、4年次の実習授業の順番を入れ替えて対応。
10	カーボディーマスター科の 取り組みについて	説明内容		【国家車体整備士試験に向けた進捗】 ・日産校統一試験において、昨年度と同様の推移。 ・低位学生へは個別対応にて理解度向上を行っている。 【特定整備記録簿授業】 ・記録簿記載授業を行い、電子記録簿の活用も行っていく。
		車体整備 協同組合	村井 様	・記録簿の記載については国土交通省の指針もあり、今後、現場でも取り組んでいく内容。 ・修理状況により異なることが多いため、記載が難しい場合がある。 ・板金塗装業務でも電子制御や水性塗料対応が必要となってくる。
		東海テクノ	小出 様	・記録簿の記載は、実施後に速やかに記載すること、また、作業実施の記録として残すことが必要となる。
11	東京オートサロン 出展車両について	説明内容		【マッチのマーチ プロジェクト】 ・弊社とタグを組んでいる「KONDO Racing」との活動の中で、近藤監督が購入した初代マーチをレストアする運びとなった。 ・日産校 5 校で作業分担を行い、完成後、東京オートサロンの日産ブースに出展。 ・東京オートサロンの日産ブースイベントとしてトークショーが行われ、各メディアのニュースにも取り上げられた。 【カスタムカー出展】 ・卒業製作のカスタムカーを東京オートサロンに出展。 ・今年は日産ブース横に展示し、多くの来場者に見ていただいた。 ・学生も説明員として参加し、来場者からの称賛をいただいた。
		日産自動車	新名 様	・お客様の車ではないが、板金塗装に携わった出展は良いと考える。 ・貴校の分担作業が、最後の仕上げとナンバーの取得であったのは苦労があったと想像できる。
12	その他車体関係の 話題 (Z 復活プロジェクト)	説明内容		・テレビ番組「奇跡体験！アンビリバボー」にて、京都校が手掛けた水没したフェアレディZのレストアが取り上げられ、放送された。 ・教材として寄贈された車両であったが、亡くなられた息子さんの形見であったため、完成後にご両親のもとへお返しした。 ・この放送後、京都校HPへのアクセスが増え、学校への関心度が拡大した。
その他	東京オートサロン 出展車両の見学	車両見学		・出展車両を見学いただいた。